

(様式9)

授業科目の概要について

学校名:	大垣女子短期大学
課程名:	音楽総合学科音楽療法コース履修証明プログラム

要件該当授業時数:	7単位
要件該当授業時数/総授業時数:	100%

分類	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	音楽療法入門		2			○		菅田文子	大垣女子短期大学音楽総合学科
必修	音楽療法・基礎		2		○	○		菅田文子	大垣女子短期大学音楽総合学科
必修	音楽療法伴奏法		1		○	○		菅田文子	大垣女子短期大学音楽総合学科
必修	音楽療法ボランティアⅠ		1		○	○	○	菅田文子	大垣女子短期大学音楽総合学科
必修	音楽療法ボランティアⅡ		1		○	○	○	菅田文子	大垣女子短期大学音楽総合学科
合計:	5科目					7			単位

* 認定課程で受講可能な全ての科目について記入してください。
* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。

音楽療法入門	単位数 時間数	2単位 22.5時間	
[教員]: 菅田 文子 (実務家教員:音楽療法公的機関勤務5年)			
【授業概要】 音楽療法とは何かについて、音楽療法の歴史を踏まえながら現在行われている音楽の療法的活用について学びます。実際の音楽活動も授業内に取り入れ、音楽が人の心と身体にどのように作用するか体験します。			
【到達目標】 [知識・理解] 音楽療法について基礎的な知識を得ている。 [思考・判断・表現] 高齢者、児童、成人を対象とした音楽療法について、どのような働きかけが適当か判断、表現することができる。 [関心・意欲・態度] 音楽の療法的な用いられかたについて関心や意欲をもち学修に取り組むことができる。			
【成績評価と割合】 筆記試験(60%)、課題提出(40%)の合計(100%) 評価の特記事項:欠席は減点とし、授業回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格がありません。			
【 内容 】			
実施回	授業内容・目標	時間	
1	音楽療法の定義、聴取型音楽療法と能動的音楽療法の違い、能動的音楽療法の種類について	1.5	実務家
2	音楽療法の歴史1:原始時代から古代ギリシャにかけて	1.5	実務家
3	音楽療法の歴史2:古代ギリシャから中世、近代音楽療法の発展について	1.5	実務家
4	高齢者の音楽療法1:認知症の種類、音楽活動について	1.5	実務家
5	高齢者の音楽療法2:実際の音楽療法活動	1.5	実務家
6	高齢者の音楽療法3:歌唱、楽器、即興演奏と連想について	1.5	実務家
7	児童分野の音楽療法1:特別支援教育について、広汎性発達障害について	1.5	実務家
8	児童分野の音楽療法2:不登校児、ぜんそく児への音楽療法	1.5	実務家
9	児童分野の音楽療法3:行動主義的アプローチについて	1.5	実務家
10	精神科の音楽療法:統合失調症について、実際の音楽活動	1.5	実務家
11	医療現場の音楽療法1:ホスピス、緩和ケアの音楽療法	1.5	実務家
12	医療現場の音楽療法2:看護師と共同で取り組む音楽療法	1.5	実務家
13	医療現場の音楽療法3:NICUにおける音楽療法	1.5	実務家
14	さまざまな現場の音楽療法:教育、福祉、地域における音楽療法1	1.5	実務家
15	さまざまな現場の音楽療法:教育、福祉、地域における音楽療法2	1.5	実務家

時間計 22.5

音楽療法・基礎		単位数 時間数	2単位 22.5時間
【教員】： 菅田 文子（実務家教員：音楽療法公的機関勤務5年）			
【授業概要】 この授業では、音楽療法のアセスメントの原理・方法についての基本的な知識と、アセスメントが実際にできるような技術について学びます。具体的には、アセスメントの種類について学ぶこと、音楽療法場面のビデオを見ながら記録を取る練習を通じて音楽療法士に必要な臨牀的視点の獲得と、状況を的確に記録する文章能力を養います。			
【到達目標】 [知識・理解]音楽療法におけるアセスメントの種類や方法についての知識を持っている。 [思考・判断・表現]ランニング・アセスメントのビデオを見て、対象者の行動を客観的に正しく記述することができる。 [思考・判断・表現]対象者のニーズを把握し、それに合った治療目標を設定し、目標を達成するための音楽活動を計画することができる。 [技能]音楽療法に関する専門用語を理解し、使うことができる。			
【成績評価と割合】 レポート(70%)、発表(グループ発表含む)(20%)、受講態度(10%)の合計(100%) 評価の特記事項：欠席は減点とし、授業回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格がありません。課題の提出及び発表がない学生には単位を与えません。			
【 内 容 】			
実施回	授業内容・目標	時間	
1	オリエンテーション：音楽療法の手順について アセスメントセッションのビデオを視聴、記録の練習①、レポート提出	1.5	実務家
2	アセスメントについて：調査票、標準化されたテスト、ランニング・アセスメントについて アセスメントセッションのビデオを視聴、記録の練習②、レポート提出	1.5	実務家
3	行動観察について：アセスメントセッションのビデオを視聴、記録の練習③	1.5	双方向 実務家
4	音楽活動の記録について：客観的な記述方法について。反応のあった音楽、視線、セラピストとのかかわりなどについて主観を交えずに描写することができる。	1.5	双方向 実務家
5	対象者の立場で感じて、音楽活動やセラピストの働きかけが対象者にどのように受け止められたか、対象者の感情を推し量って記述し、次回からのセッションの活動で何を 用い、どこを変えなければいけないか自分の考えを記述することができる。	1.5	双方向 実務家
6	目標設定について：対象者の分野別に異なる目標があることを知る。	1.5	双方向 実務家
7	長期目標と短期目標について：それぞれの目標の違いを知り、短期目標の立て方を学ぶ。	1.5	実務家
8	目標に応じた音楽活動の計画1：「動きを促す活動」短期目標として具体的な音楽活動を 計画する。グループあるいは個人で活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
9	目標に応じた音楽活動の計画2：「社会性を促す活動」短期目標として具体的な音楽活 動を計画する。グループあるいは個人で活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
10	目標に応じた音楽活動の計画3：「コミュニケーションを促す活動」短期目標として具 体的な音楽活動を計画する。グループあるいは個人で活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
11	事例から目標と活動を設定する演習1：児童 児童の事例を読み、対象者に受け入れられる選曲と活動、発表を考える。	1.5	双方向 実務家
12	事例から目標と活動を設定する演習2：成人 成人の事例を読み、対象者に受け入れられる選曲と活動、発表を考える。	1.5	双方向 実務家
13	事例から目標と活動を設定する演習3：高齢者 高齢者の事例を読み、対象者に受け入れられる選曲と活動、発表を考える。	1.5	双方向 実務家
14	この授業のレポート課題内容を説明する。	1.5	双方向 実務家
15	レポート課題の作成 レポート課題を作成、完成させる。	1.5	実務家

時間計 22.5

音楽療法伴奏法		単位数 時間数	1単位 22.5時間
【教員】 菅田 文子 (実務家教員:音楽療法公的機関勤務5年)			
【授業概要】 音楽療法では、対象者が歌いやすく、演奏しやすいような伴奏の技術が求められます。この授業では、鍵盤楽器(キーボード)とギターの両方で、対象者が求める伴奏ができるような技術について学びます。			
【到達目標】 [知識・理解]コードと指使いについての知識を習得する。 [思考・判断・表現]グループ演習において共同して課題に取り組むことができる。 [技能]簡単な曲のコードを自分で見つけて伴奏づけができる。			
【成績評価と割合】 小テスト(30%)、レポート(20%)、実技試験(50%)の合計(100%) その他:欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。課題の提出及び発表がない学生には単位を与えません。			
【 内容 】			
実施回	授業内容・目標	時間	
1	オリエンテーション:音楽療法に求められる伴奏能力について(ワークショップ) ミュージックベルのアンサンブル(長調のI-IV-V)	1.5	双方向 実務家
2	ギター各部の名称、メンテナンスについて チューニングとオープンコード(1)Em、E(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
3	オープンコード(2)A、A7(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
4	オープンコード(3)D、D7、Dm(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
5	オープンコード(4)G、G7(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
6	オープンコード(5)C、C7(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
7	オープンコード(6)F(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
8	中間テスト ギター伴奏のテスト テキストから1曲	1.5	双方向 実務家
9	鍵盤楽器の伴奏(1)歌いやすい伴奏例(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
10	鍵盤楽器の伴奏(2) I -IV - V の進行と展開形(長調)(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
11	鍵盤楽器の伴奏(3) I -IV - V の進行と展開形(短調)(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
12	鍵盤楽器の伴奏(4)歌謡曲の伴奏(演歌)(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
13	鍵盤楽器の伴奏(5)打楽器の伴奏(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
14	鍵盤楽器の伴奏(6)体操の伴奏(ワークショップ)	1.5	双方向 実務家
15	伴奏楽器について、まとめ	1.5	実務家

時間計 22.5

音楽療法ボランティア I		単位数 時間数	1単位 27時間
[教員]: 菅田 文子 (実務家教員:音楽療法公的機関勤務5年)			
【授業概要】 施設に行き音楽療法を実践することで対象者への理解を深め、声かけや支援における適切な対応や目標に沿った活動の実践を身につける授業です。前半は教員の実践の見学参加とレポートが主ですが、活動を計画して自分でセッションが行えるようになること、それに対して適切な記録と評価ができるようになることが目標となります。			
【到達目標】 [知識・理解]音楽療法の目的と活動の関連を理解している。 [技能]音楽療法セッションに見学参加して客観的で詳細なレポートを書くことができる。 [思考・判断・表現] 目標に沿った活動を計画して、実施することができる。 [関心・意欲・態度]対象者と実際にコミュニケーションを取ることができる。			
【成績評価と割合】 小テスト(20%)、レポート(50%)、実習中の発表(30%)の合計(100%) その他:欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。課題の提出及び発表がない学生には単位を与えません。			
【 内容 】			
実施回	授業内容・目標	時間	
1	オリエンテーション:実習施設の概要と対象者の理解、音楽療法の計画について	1.5	実務家
2	グループに分かれて計画(グループディスカッション) 少人数に分かれてそれぞれ1つの活動を計画、活動の目標を設定する	1.5	双方向 実務家
3	グループに分かれて計画、活動を発表(グループディスカッション) グループで行う活動を準備、練習して発表する。目標に沿ったはたらきかけについて学ぶ。	1.5	双方向 実務家
4	音楽療法セッションリハーサル(ワークショップ) 音楽療法セッションを想定して活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
5	福祉施設にて音楽療法セッションの実施	3	実地
6	活動の振り返り、記録と評価(グループディスカッション)	1.5	双方向 実務家
7	グループに分かれて計画、活動を発表(ワークショップ) 少人数に分かれてそれぞれ1つの活動を計画準備して発表する。	1.5	双方向 実務家
8	音楽療法セッションリハーサル(ワークショップ) 音楽療法セッションを想定して活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
9	福祉施設にて音楽療法セッションの実施	3	実地
10	活動の振り返り、記録と評価(グループディスカッション)	1.5	双方向 実務家
11	グループに分かれて計画、活動を発表(グループディスカッション) 1人1つの活動を計画、活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
12	音楽療法セッションリハーサル(ワークショップ) 音楽療法セッションを想定して活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
13	福祉施設にて音楽療法セッションの実施	3	実地
14	活動の振り返り、記録と評価(グループディスカッション)	1.5	双方向 実務家
15	まとめ、レポート作成	1.5	実務家

時間計 27

音楽療法ボランティアⅡ		単位数 時間数	1単位 27時間
[教員]: 菅田 文子 (実務家教員:音楽療法公的機関勤務5年)			
【授業概要】 施設に行き音楽療法を実践することで対象者への理解を深め、声かけや支援における適切な対応や目標に沿った活動の実践を身につける授業です。前期の高齢者施設に加え、重度心身障害者施設、デイサービスなど、対象者に応じた工夫が必要な施設で実践を行います。この授業の終わりには自分たちだけで音楽療法セッションが計画、実践できることが目標です。最終的には一人でできるようにすることを目指します。			
【到達目標】 [知識・理解]対象者の特性を理解して計画を立てることができる。 [思考・判断・表現]目標に沿った活動を計画して、実施する。振り返りを行い活動内容の改善が行える。 [技能]音楽療法セッションを実施して客観的で詳細なレポートを書くことができる。 [関心・意欲・態度]対象者と治療目的に沿ったコミュニケーションを取ることができる。			
【成績評価と割合】 小テスト(20%)、レポート(50%)、実習中の発表(30%)の合計(100%) その他:欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。課題の提出及び発表がない学生には単位を与えません。			
【 内容 】			
実施回	授業内容・目標	時間	
1	オリエンテーション:実習施設の概要と対象者の理解、音楽療法の計画について	1.5	実務家
2	グループに分かれて計画(グループディスカッション) 少人数グループが複数の活動を計画する。役割分担、目標の設定を行う。	1.5	双方向 実務家
3	グループに分かれて計画、活動を発表(グループディスカッション) 準備した活動を発表する。はたらきかけ、目標設定に齟齬がないか確認を行う。	1.5	双方向 実務家
4	音楽療法セッションリハーサル(ワークショップ) 音楽療法セッションを想定して活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
5	福祉施設にて音楽療法セッションの実施	3	実地
6	活動の振り返り、記録と評価(グループディスカッション)	1.5	双方向 実務家
7	グループに分かれて計画、活動を発表(グループディスカッション) 少人数グループが複数の活動を計画、活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
8	音楽療法セッションリハーサル(ワークショップ) 音楽療法セッションを想定して活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
9	福祉施設にて音楽療法セッションの実施	3	実地
10	活動の振り返り、記録と評価(グループディスカッション)	1.5	双方向 実務家
11	計画、活動を発表(グループディスカッション) 1人で複数の活動を計画、発表する。内容と目標の整合性についてグループで検討する。	1.5	双方向 実務家
12	音楽療法セッションリハーサル(ワークショップ) 音楽療法セッションを想定して活動を発表する。	1.5	双方向 実務家
13	福祉施設にて音楽療法セッションの実施	3	実地
14	活動の振り返り、記録と評価(グループディスカッション)	1.5	双方向 実務家
15	まとめ、レポート作成	1.5	実務家

時間計 27